

## 良さであふれる庄内地区

都城市立庄内中学校2年 松浦 茜

みなさんは自分たちの町の良さについて考えたことはありますか。私自身、この作文を書くまで庄内町の良さを考えたことはありませんでした。しかし、実際に考えてみると私たちの町には良さがたくさんありました。その中でも、「地域の人々の仲の良さ」と「歴史や伝統文化」の二つについて述べようと思います。

まず、「地域の人々の仲の良さ」についてです。庄内中では、挨拶の活性化を目指し「GETJ」という活動を行っています。「G」=元気よく。「E」=笑顔で。「T」=立ち止まって。「J」=自分から。という目標をもって日々生活をしているので、登校中や下校中に地域の方々に挨拶をすることがよくあると思います。地域の方々は、挨拶を返してくれるだけでなく、「おかえり」や「気を付けて行ってね」など優しい言葉をかけてくださいます。また、私の友達は、困っている時に声をかけてもらい、助けてもらった経験を教えてくれた人もいます。この話を聞いたとき、とても心が温かくなりました。困った時には助け合い、支えあえるそんなつながりがあるところが、自分たちの町の良さだと思っています。

次に、「歴史や伝統文化」についてです。私が卒業した庄内小学校では、「南州太鼓」、「熊襲踊り」、「水道音頭」や「水戸踊り」という伝統文化が受け継がれています。新型コロナウイルスが流行する前は、伝統文化について、実際に体験する機会があり、詳しく学ぶことができました。私が、先ほど挙げたような伝統文化を知ったきっかけは、先輩方が紹介してくれたことがきっかけです。このことから、庄内地区では古くからの歴史が受け継がれていったのだと感じました。都城市全体で、歴史を大切にするために、一年に一度、都城市内の各地区の伝統文化について紹介しあう機会を作ると良いと思います。自分たちの町の歴史について知ることができ、伝統文化を紹介しあうことで、他の地区の歴史も知ることができると思います。

庄内町にはこのように良いところがたくさんありますが、改善しないといけない点もあると思います。それは、マナーを守れていない人がいる点です。私は、登下校中や、散歩をしている途中に、よくペットボトルやビニール袋のゴミを見かけます。このことは、日本全体でも大きな問題になっています。例えば、私たち人間が捨てたゴミが海に流れてしまうと、海の中で生活している生き物に影響がでてしまいます。また、とある記事によると、2050年の海は、魚よりもゴミの方が多くなってしまおうそうです。今は、コロナ禍で地域全体でのゴミ拾いなどの活動などができない中ではありますが、一人一人がゴミの量を少しでも減らす意識をもてるような活動をしていきたいです。例えば、「ポスターを作る」、「市の広報で呼びかける」、「各小学校区や地区でゴミ拾いをする」などの活動を通して、庄内町をもっと良い町にしていきたいです。

先ほど述べたように、庄内町には良い点も改善点もあります。私は庄内町が良い点であふれる町になるように、改善点はしっかりと改善していけるといいと思います。そして、この発表を通して、少しでも多くの方が庄内町の魅力についてきっかけを作れるように、これからも庄内町の良さを伝えていきたいです。